

SEA JAPAN 2018 船舶海洋技術セミナー





1. 日程等

- 日 程 :平成 30 年 4 月 13 日(金) 10:30~16:30
 場 所 :東京ビッグサイト SEA JAPAN 展示会場内セミナー会場C
 共 催 :国土交通省、(一財)日本海事協会、(一社)日本船用工業会
 備 考 :日英同時通訳有

2. 講演スケジュール

船舶海洋技術セミナー

船舶海洋技術セミナー		
講演 1		
10:30 ▼ 10:50 (20分)		開会の挨拶および海事政策（海事生産性革命）の紹介 講演者：国土交通省 海事局 船舶産業課 舟艇室長 峰本 健正
講演 2		
11:00 ▼ 11:30 (30分)		大型コンテナ船における船体構造ヘルスマニタリングに関する研究開発 講演者：日本郵船 株式会社 工務グループ グループ長代理 山本 泰
講演 3		
11:40 ▼ 12:10 (30分)		海事産業における製品情報の高度利用のための情報共有基盤“SPEED S”の拡張 講演者：公益社団法人 日本船舶海洋工学会 P55 研究委員会代表 濱田 邦裕 (広島大学大学院 工学研究科 輸送・環境システム専攻 教授)
昼休憩		
講演 4		
13:10 ▼ 13:40 (30分)		デジタル技術を活用した海事イノベーションについて（船級の立場から） 講演者：一般財団法人 日本海事協会 執行役員 技術研究所長 松本 俊之
講演 5 新スマートナビゲーションシステム研究会の活動紹介		
13:50 ▼ 14:35 (45分)		(1) 船舶デジタルライゼーション時代に向けた船舶オープンプラットフォームの役割 講演者：株式会社 MTI 船舶技術部門 部門長 安藤 英幸 (新スマートナビゲーションシステム研究会 座長)

<p>14 : 35 ▼ 14 : 55 (20 分)</p>		<p>(2) 船舶データ活用を推進する日本発の国際標準化の取り組み ①ISO/FDIS 19847 (実海域データ共有化のための船内データサーバー要件) について</p> <p>講演者 : 渦潮電機 株式会社 イノベーション本部 IT イノベーショングループ エキスパート 山田 隆志</p>
<p>14 : 55 ▼ 15 : 15 (20 分)</p>		<p>(2) 船舶データ活用を推進する日本発の国際標準化の取り組み ②ISO/FDIS 19848 (船上機械および機器用データ標準) について</p> <p>講演者 : 寺崎電気産業 株式会社 システム事業開発設計部 開発設計 2 課 主任 森本 峰行</p>
<p>15 : 15 ▼ 15 : 50 (35 分)</p>		<p>(3) 海事生産性革命の基盤となる ShipDC の取り組みと新スマートナビゲーションシステム研究会の連携について</p> <p>講演者 : 株式会社 シップデータセンター 代表取締役社長 池田 靖弘</p>
<p>講演 6</p>		
<p>16 : 00 ▼ 16 : 30 (30 分)</p>		<p>海事教育における機関プラントシミュレータの活用と IoT 導入の可能性</p> <p>講演者 : 公益社団法人 日本マリンエンジニアリング学会 機関プラントシミュレータ研究委員会 委員長 三輪 誠 (神戸大学大学院 海事科学研究科 准教授)</p>